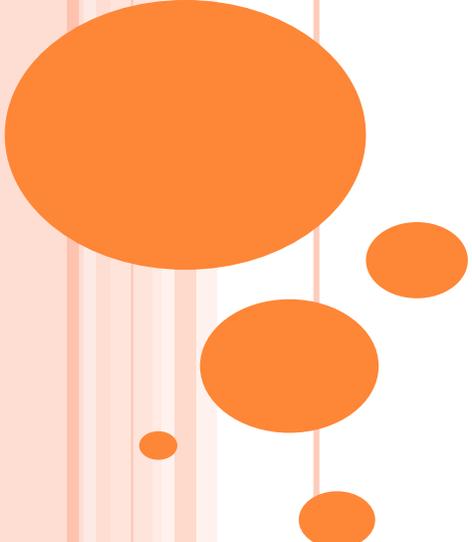


2019年度WWLコンソーシアム構築支援事業



## 協働型探究学習によるSDGs達成を担う 次世代地球市民の育成

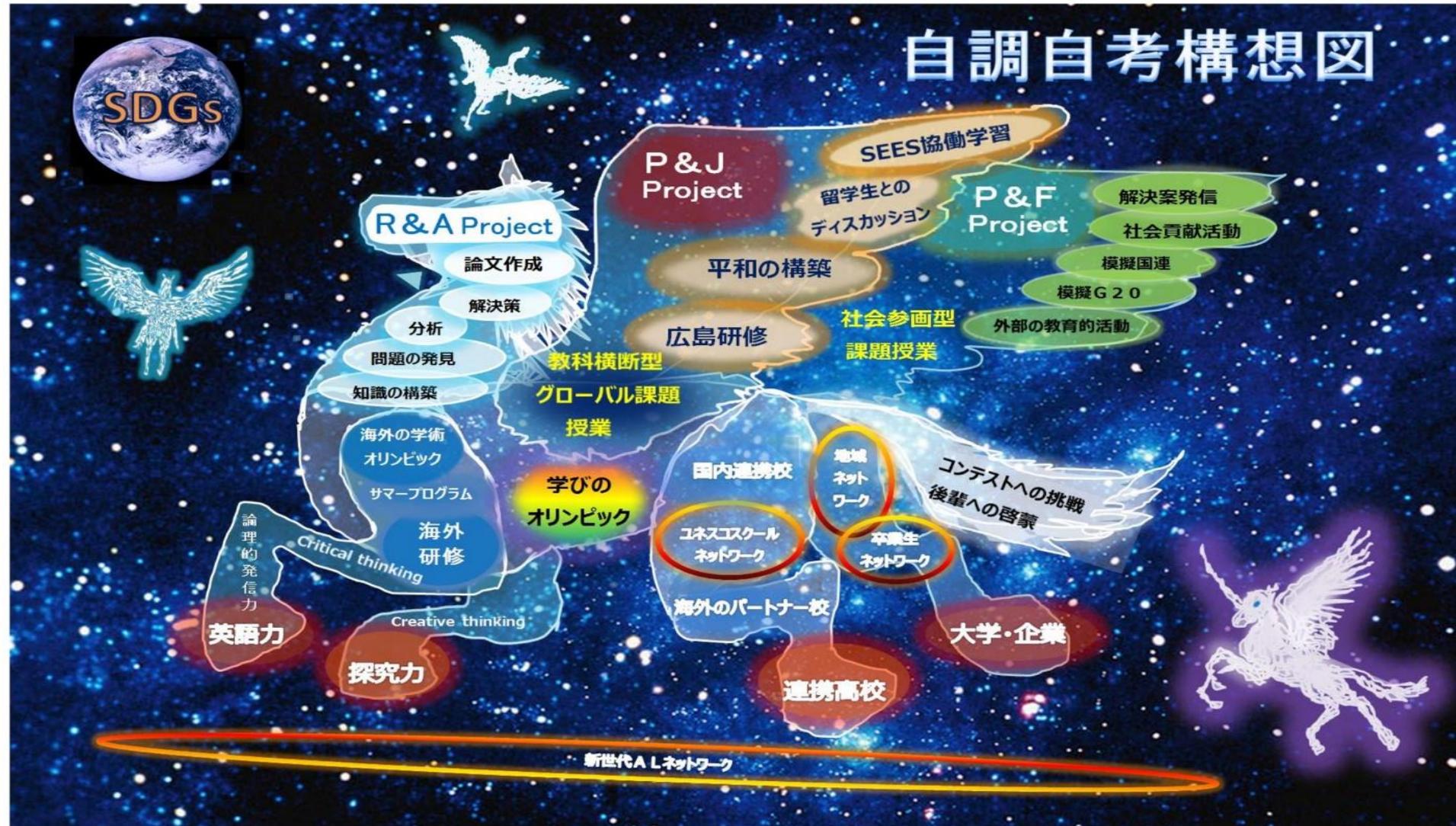
学校法人 渋谷教育学園

渋谷教育学園渋谷高等学校

## はじめに

- なぜ、WWLへ・・・SGHの振り返りから
  - ① 正解主義の徹底 → 探究
  - ② 個人主義の勉強 → 協働勉強
  - ③ 主体性の不足 → 交流会議の運営・実施
- これらの課題に向き合う仕組みとして、WWLを活かしていけないかと考えている。
- 経験の共有 地域を超えたつながり

# 構想図



## 構想概要 - 1

- 教科連携型学習アプローチと探究学習活動を重視し、大学等の学問ネットワークを利用できる仕組みを整えることで、教科の枠に収まらない学びをカリキュラムの中に位置づける。
- それにより、社会課題に対する認識を深めると同時に、課題設定力や論理的思考力の強化を図る。さらに自らネットワークを作りだし、活用する意欲とスキルを身につける。

## 構想概要 - 2

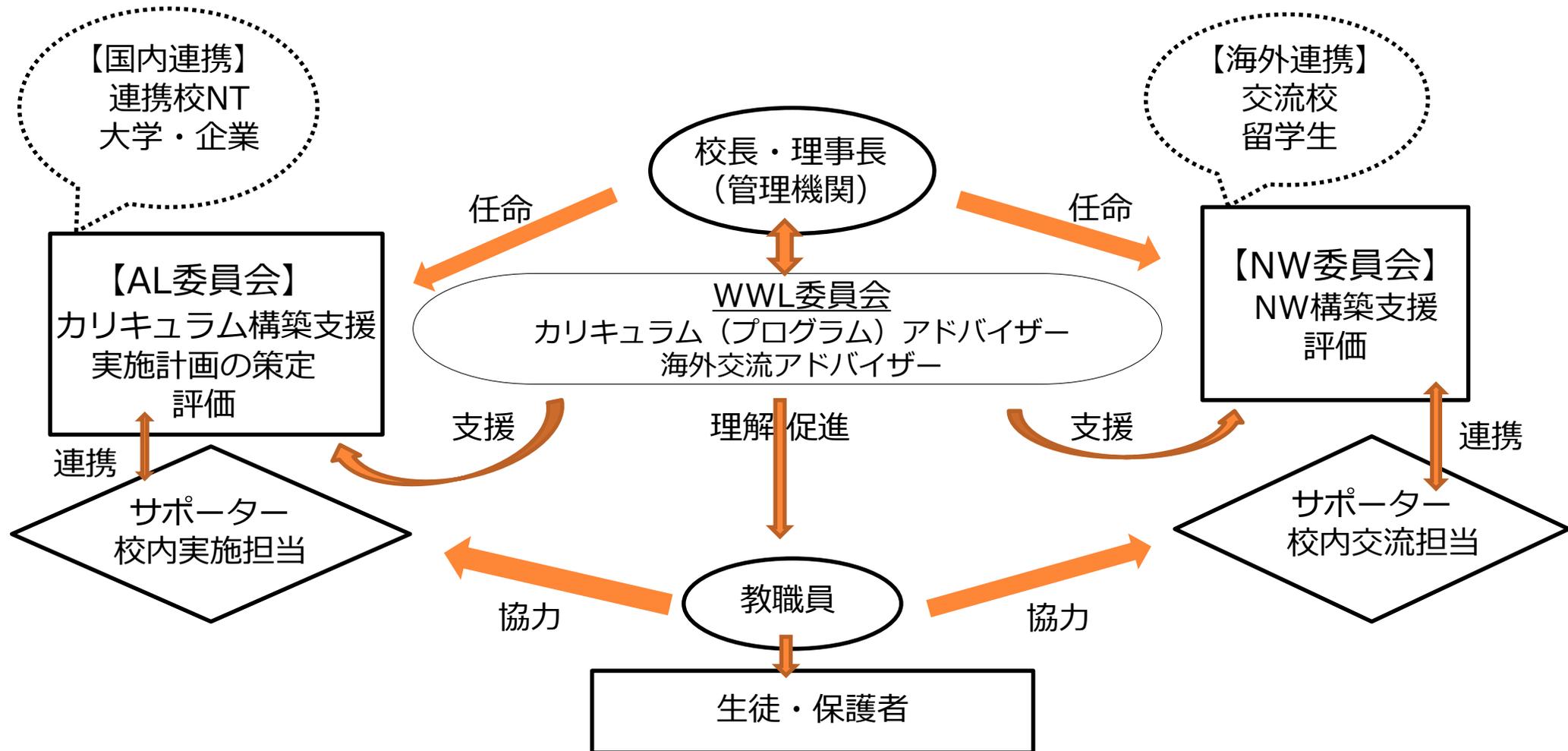
- 高校生が主役となった国際的な場（学びのオリンピック（仮称））を開催することをめざし、その取り組みの中で、個々の対話力、英語力、探究力を高めるとともに、同じ理念を共有するものとしての連携をはかり、空間を超えたチームワークを学ぶ。
- その取り組みを見える化・ネットワーク化することで、より深い学びに繋げることを目指す。テーマをSDGs（持続可能な開発目標）とし、中でも、環境、人権、平和を取り上げる。その特徴でもある参画型、統合性を活かした取り組みとする。

## 構想概要 - 3 研究開発・実施体制

- 管理機関： 学校法人 渋谷教育学園
- 事業拠点校： 渋谷教育学園渋谷高等学校
- 事業協働機関： 東京外国語大学・電気通信大学
- 事業連携校： 渋谷教育学園幕張高等学校  
清教学園高等学校  
広島女学院高等学校  
St.Stephen's Episcopal School (USA)  
Raffles Institution (SGP)  
Loreto College (AUS)

# 組織体制

本学の特徴 学校と管理機関の切り分けが難しい… ほぼ一体化している



## 本事業における申請要件の取組 - 1

- 国内外と連携した探究活動

高校での学びから一歩進んだ学習活動の支援

例) 課題探究の論文作成  
大学・研究機関との連携

## 本事業における申請要件の取組 - 2

- 留学生・学校交流生との学びあい

相互交流における学びあいの継続支援

例) 平和構築のために相互理解につなげる取り組み

## 本事業における申請要件の取組 - 3

- 学びのオリンピック（仮称）

例) 国際会議への継続的な参加

国内の連携校とのネットワークの構築  
(距離の壁を超える)

## 今後の課題

- 生徒の志望と先取り履修のマッチング
- 大学連携
- ICT通信網・通信料金の壁
- 本学の特徴を活かした体制づくり

よろしくお願いいたします。